

だれでも、ささえあって生きられる東京に!

石原都知事は、知事就任から日の浅い都立府中療育センター視察の際に、重度の障害のある入所者のみなさんに対して「ああいう人ってのは人格あるのかね」と発言、関係者の大きな批判を浴びました。この発言に象徴される弱い立場への無理解・人権感覚の欠如した都知事のもとのこの10年、東京都の福祉、人権政策は大きく後退してきました。

障害「当事者」である高木あきなりさんはそんな石原都政のヒドサを実感してきました。障害のある人、お年寄り、子ども、そして、不安定で、不安な若者、女性の切実な声をきっと都政に届けてくれます。



**7月12日は
都議会議員選挙です。**

東京にオリンピックはいらない!

「国威発揚」と「都市大改造」を掲げる石原知事の思いつきから始まった2016年オリンピックの東京招致。自民党はもちろん民主党も推進しています。

都は無理やり招致気運を高めようと躍起。オリンピック招致予算は当初の15億円がどんどん膨れ上がって、なんと総額150億円を超えました。さらに一方で、毎年1000億円、すでに4000億円の積み立て金。さらに、数兆円のスタジアムや道路建設、つくってしまえば後々まで続く維持管理費も膨大です。このツケは小金井市民も含む将来の都民-子どもたちへの負担となっていきます。

高木あきなりさんは東京オリンピックにはキッパリと反対です。

**選挙はたいせつな権利。
投票に行こう!**

ザルのような「新銀行東京」はいらない!

「新銀行東京」は開業3年で累積赤字1016億、破たん対策の400億円の追加出資もなくなる寸前。「新銀行東京」に賛成した自民党と民主党の責任は重大です。ザルのような「新銀行東京」をこのままにはできません。

高木あきなりさんは「新銀行東京」にストップをかけます。

子どもの権利にもとづいた教育行政を!

石原都知事になってから都の教育行政は暴走しています。

都教委は、養護学校における性教育に政治家の介入を許し、強権的に性教育を破壊してきました。歴史を捻じ曲げた「つくる会」の社会科教科書を、特別支援学校と都立中高一貫校におしつけました。また、研修などでプレッシャーを与え、教員の数を減らし、いまだ40人学級でのクラス編成を強いています。日の丸君が代を強制することによって、入学式や卒業式を処分の場合とし、子どもたちのための場を奪っています。

高木あきなりさんは、都議会でも「子どもの権利条例」制定の先頭に立ち、子どもやおとなに寄りそった教育行政を実現してくれるでしょう。



7/12都議選にいこう!

前回の都議選の投票率は約40%。あらゆる選挙の中で、最も低い投票率です。都政は私たち市民にとって遠い存在です。でも、都の予算はなんと約12兆円! この巨額の予算の使い道を決めるのが都議会です。人の痛みがわかる人に都議になってもらいたいものです。そうすれば、都政はもっと身近になります。

イキナリ あきなり 勝手連ニュース

**自民党は石原都政にべったり。
民主党もイマイチ物足りない。**

やっぱり都議会には 高木あきなりさんが 必要だ!!



1975年生まれ。ピノキオ幼稚園（梶野町）、こどものくに幼稚園（前原町）を経て、私立武蔵野学園小、市立東中、都立小金井北高、成蹊大学法学部卒業。法政大学院修士課程修了（修士論文は、東京都による障がい者就労支援政策）。2006～2009年、NPO法人 子どもの権利条約総合研究所特別研究員。全国各地で講演活動中。2008年、「駅前庁舎の是非を問う住民投票を実現する会」で街頭署名運動。

現在＝ごみ問題の解決をめざす小金井市民の会 共同代表／子どもの権利条約ネットワーク運営委員／法政大学院政治学研究科博士後期課程在籍。著書・論文多数。東町5丁目在住。

「子どもの権利条例」での行動力を 都議会でも発揮してください!



片山かおる
(市議会議員)

高木あきなりさんとはこれまで『小金井市子どもの権利に関する条例』制定に向けていっしょに活動してきました。情報公開請求、陳情、勉強会、講演会、さまざまな情報を発信し、どのように動いたらいいか、やるべきことを提案してくれて、いっしょに動いてきました。高木あきなりさんがいなければ権利条例制定は難しかったかもしれない。意見が違う部分もちろんありますが、話し合いもできる人です。高木あきなりさんは脳性麻痺の体ですが、頭脳明晰で行動力抜群です。自身に障がいがあることを自覚し、自分よりもっと弱者である、意見を封じこめられた子どもたちの権利を保障する社会を作ろうとしています。彼を都議会に送ることによって、小金井から真のノーマライゼーション社会をめざすための発信ができます。

すべての人が暮らしやすい社会にするためにも、自分自身の身をもって体現することができる、高木あきなりさんを応援します。

イキナリ、あきなり、ありがとう!

投票する候補がない……。都議選が近づくにつれて、困った気分が大きくなっていました。

国政も都政も「政権交代」は必要、でも2大政党制には反対です。だって自民党も民主党もそんなに違いはないですから。小金井の都議選候補の経歴は象徴的です。民主党の現職は市議時代は自公推薦市長の応援団長のようだったし、自民党の公認は民主、自民、無所属と転々としてきた前市議。自公政権が続くのは最悪だけど、民主党にもあまり期待はできません。先を見越した選択肢＝有権者の意思表示が必要です。

そこで決意しちやったのが高木あきなりくん。こんな直前にイキナリ…。でも、あきなりくんは、石原都政そして自民党にも民主党にも一番欠けている「弱いものへの視点」にあふれた障害「当事者」。地方自治や人権政策の研究者でもあり、市議会に多くの陳情書を出すなど、さまざまな市民活動にも関わってきました。

エコでピースでフェアな未来への思いを、高木あきなりくんに託します。



漢人あきこ
(市議会議員)